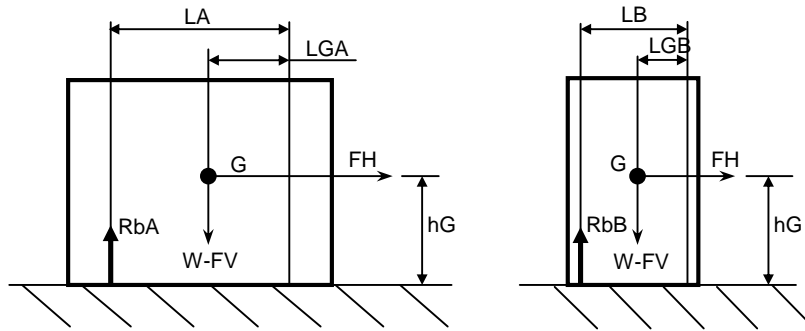


■設備用ロスナイ LB-100DF5-50、-60 耐震強度検討書



<計算条件>

製品質量	W = 253 kg	ボルトから重心	LGA = 625.0 mm
重心高さ	hG = 930 mm	までの距離	LGB = 230.0 mm
ボルトスパン	LA = 1250 mm	ボルトサイズ	M16
	LB = 460 mm	ボルト総本数	n = 4 本
		片側ボルト本数	nt = 2 本

各設計用標準震度、地域係数に対する計算結果				
設計用標準震度	KS	1.0	1.5	2.0
地域係数	Z	1.0	1.0	1.0
設計用水平震度	KH=KS×Z	1.0	1.5	2.0
設計用水平地震力	FH=KH×W	2.48 kN	3.72 kN	4.96 kN
設計用鉛直地震力	FV=FH/2	1.24 kN	1.86 kN	2.48 kN
アンカーボルト引抜力		・ボルトスパンA側(RbA) 0.61 kN 1.23 kN 1.84 kN ・ボルトスパンB側(RbB) 2.20 kN 3.60 kN 5.01 kN		
アンカーボルトせん断応力度		0.41 kN/cm ² 0.62 kN/cm ² 0.83 kN/cm ²		
$R_b = \frac{FH \times h_G - (W \times 9.8 - FV) \times LG}{L \times n_t}$ * L: LA又はLB、LG: LGAまたはLGB				
各アンカーボルトの短期許容引抜荷重に対する安全率				
あと施工金属拡張アンカーボルト(おねじ形)	短期許容引抜荷重: 9.2 kN	4.2 倍	2.6 倍	1.8 倍
コンクリート厚さ 120mm~200mm 埋込長さ 70mm コンクリートの設計基準強度 1.8 kN/cm ²				
あと施工接着系アンカーボルト	短期許容引抜荷重: 12.0 kN	5.5 倍	3.3 倍	2.4 倍
コンクリート厚さ 150mm~200mm 埋込長さ 110mm コンクリートの設計基準強度 1.8 kN/cm ²				
各アンカーボルトの短期許容せん断応力度に対する安全率				
ボルト(SS400)	短期許容せん断応力度: 10.1 kN/cm ²	24.4 倍	16.3 倍	12.2 倍
ステンレスボルト(A2-50)	短期許容せん断応力度: 9.12 kN/cm ²	22.1 倍	14.7 倍	11.0 倍
以上の計算結果において、上記アンカーボルト M16 はいずれも十分な強度を有する				

- ・「建築設備耐震設計・施工指針 2005年度版」を参照しています。
- ・本検討書は上記条件を元にしたアンカーボルトについての強度検討書であり、製品の耐震強度を保証するものではありません。
- ・基礎の隅角部、辺部に打設するアンカーボルトは、コンクリート基礎にワレ、欠け等なきよう打設位置に配慮ください。